

ワーキングメモリの特性を踏まえ学習を支援する

～子どもも納得する新しい学習の取り組み方を提案します～

講師：河村 暁氏

第2弾

と き：2015年06月14日（日）

9時30分受付開始 10時00分～16時30分

ところ：ABC貸会議室 第2会議室

（名古屋市中村区椿町 16-23 名駅 ABC ビル / <http://www.abckashikaigishitu.com/about.php>）

●参加費：6,000円

●定 員：50名（完全予約制）

* 完全予約制です！

* 申込み方法／ホームページから、お申し込みください。申し込み確認の後、郵便振込口座へお振込み下さい。

<郵便振り込み口座>

00840-1-67926

「子どものためのあいちAAC研究所」

* 受講票をお送りいたします。

* 受講票を受付でご提示下さい。

* 住所は正確にお書き下さい。

* 通信欄に、「セミナー名」「親」「親以外の支援者であれば、職種名」を記載して下さい。

* 振込みは申込み完了後2週間以内に願います。

<講師紹介>

- 河村 暁（かわむら さとる）先生
- ・ 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程終了／博士（心身障害学）
- ・ 発達ルームそら主宰（ホームページは以下／2011年開設）
- ・ <http://www.h6.dion.ne.jp/~roomsora>
- ・ 広島文化学園大学非常勤講師
- ・ 主著：「ワーキングメモリと特別な支援」（北大路書房）、ほか
- ・ 論文：「ワーキングメモリに困難のあるLD児の漢字の読み書き学習における単語の熟知度と漢字の画数・複雑性の影響（共著）」、LD研究（2007年）、ほか

主催：子どものためのあいちAAC研究所

連絡先：春日井市弥生町2丁目105-1 子どものためのあいちAAC研究所

代表：中島雅史

TEL/fax 0568-85-4020

<http://www.aichi-aac-center.jp>

今回は、5月の湯澤先生と連続講座といたしました。ですので、河村先生には、前回以上に発達障害のある子どもの学習支援について、具体的で実践的な研修の場となるように工夫いたしました。

実践編ということですので、はじめに「ワーキングメモリと学習の関係性」について簡単におさらいしたあと、学習支援の進め方を事例に基づいて学んでいただきます。つづいて、実際に学習支援を必要とする子どもになったつもりで課題に取り組む経験、学びを支援する側の経験をもとに、支援計画の立案の仕方、教材の作り方を学んでいただこうと考えています。

1. ワーキングメモリモデルの実践的理解と応用
2. ワーキングメモリを踏まえた基本的な支援方略
3. 「読み・書き・語彙・読解・作文、計算・図形・文章題」の支援技術

以上のように、研修内容は「読み書き」の視点を当てた個別支援技術が主になります。

先生は、「内容をすぐに活用しやすいのは通級の先生など個別指導で接している支援者、保護者」だろうとおっしゃっています。また、「個別指導技術は、通常学級での指導にすぐ応用できない部分もありますが、個の認知特性に応じるやり方を集団での指導の中に生かすことができます」ともおっしゃっています。

今回は、受講を予約なさった方から、事前にご質問、教材作りに対するご意見などをいただき、当日河村先生に講義の中で、触れていただこうと考えおります。また、ご自身が考案された教材に対するアドバイスをいただきたい場合も、受け付けたいと思います。何らかの形で反映いたしたく思います。今回は、すぐれて実践的なものですので、多くの方々のご参加をお待ち致しております。

<スケジュール>

- 9時30分 受付開始
- 10時00分 あいさつ・講師紹介
午前の講習開始
- 12時00分 おひる休憩
- 13時00分 午後の講習開始
- 15時40分 質疑応答
- 16時00分 セミナー終了

<テキスト及び参考図書>

- * 「ワーキングメモリと特別な支援」(北大路書房)
- * 「ワーキングメモリと発達障害」(北大路書房)
- * 「ワーキングメモリと学習指導」(北大路書房)
- * 「脳のメモ帳 ワーキングメモリ」(新曜社)
- * 「ワーキングメモリに困難のあるLD児の漢字の読み書き学習における単語の熟知度と漢字の画数・複雑性の影響」、LD研究(2007年)

今回は、湯澤先生とのコラボ企画です。
なるべく、連続で受講なさいますようご案内いたします。ワーキングメモリに対する理解に加え、評価の進め方が重要です。

<アクセス>

- JR、名鉄、近鉄 / 新幹線(西口)より徒歩1分
- 地下鉄東山線、桜通線「名古屋」 新幹線(西口)より徒歩1分
 - 会場での飲食はOKです。
 - ゴミはお持ち帰りください

